

## 6. 資料編

### 6.1 境川修景整備検討会設置要綱

(設置)

第1条 利根川水系一級河川境川（以下「境川」という。）の修景整備の検討をするため、境川修景整備検討会（以下「検討会」という。）を設置する。

(組織)

第2条 検討会は、会長及び副会長並びに会員をもって組織する。

2 会長は、市長が指名した者をもって充てる。

3 会長は、会務を総理し、検討会を代表する。

4 副会長は、会長が選任した者とし、会長に事故があるとき又は欠けたときは、その職務を代理する。

5 会員は、市長が指名した者をもって充てる。

(掌握事務)

第3条 検討会は、境川修景整備に関する事項を協議する。

(会員の任期)

第4条 会員の任期は、本計画の策定に向けた検討が終了する日までとする。ただし、会員が欠けた場合の補欠会員の任期は、前任者の残任期間とする。

(検討会の開催)

第5条 会長は、会議を招集する。

2 会長は、前項の規定に代えて、メール等の電子的な方法を用いて行うことができる。

(会員以外の者の出席)

第6条 会長は、必要があると認めるときは、会員以外の者に対し、資料の提出を求め又は会員以外の者を出席させ、意見若しくは説明を求めることができる。

(秘密保持)

第7条 会員は、その職務に関して知り得た個人情報については、その職を退いた後も、他に漏らしてはならない。

(庶務)

第8条 検討会の庶務は、都市整備部道路整備課において処理する。

(補則)

第9条 この要綱に定めるもののほか、検討会の運営に関し必要な事項は、市長が別に定める。

(この要綱の失効)

第10条 この要綱は、検討会における検討が終了する日限り、その効力を失う。

附 則

(施行期日)

1 この要綱は、令和元年10月3日から施行する。

6.2 境川修景整備検討会 会員名簿

境川修景整備検討会会員名簿

(令和元年 11月 14 日現在)

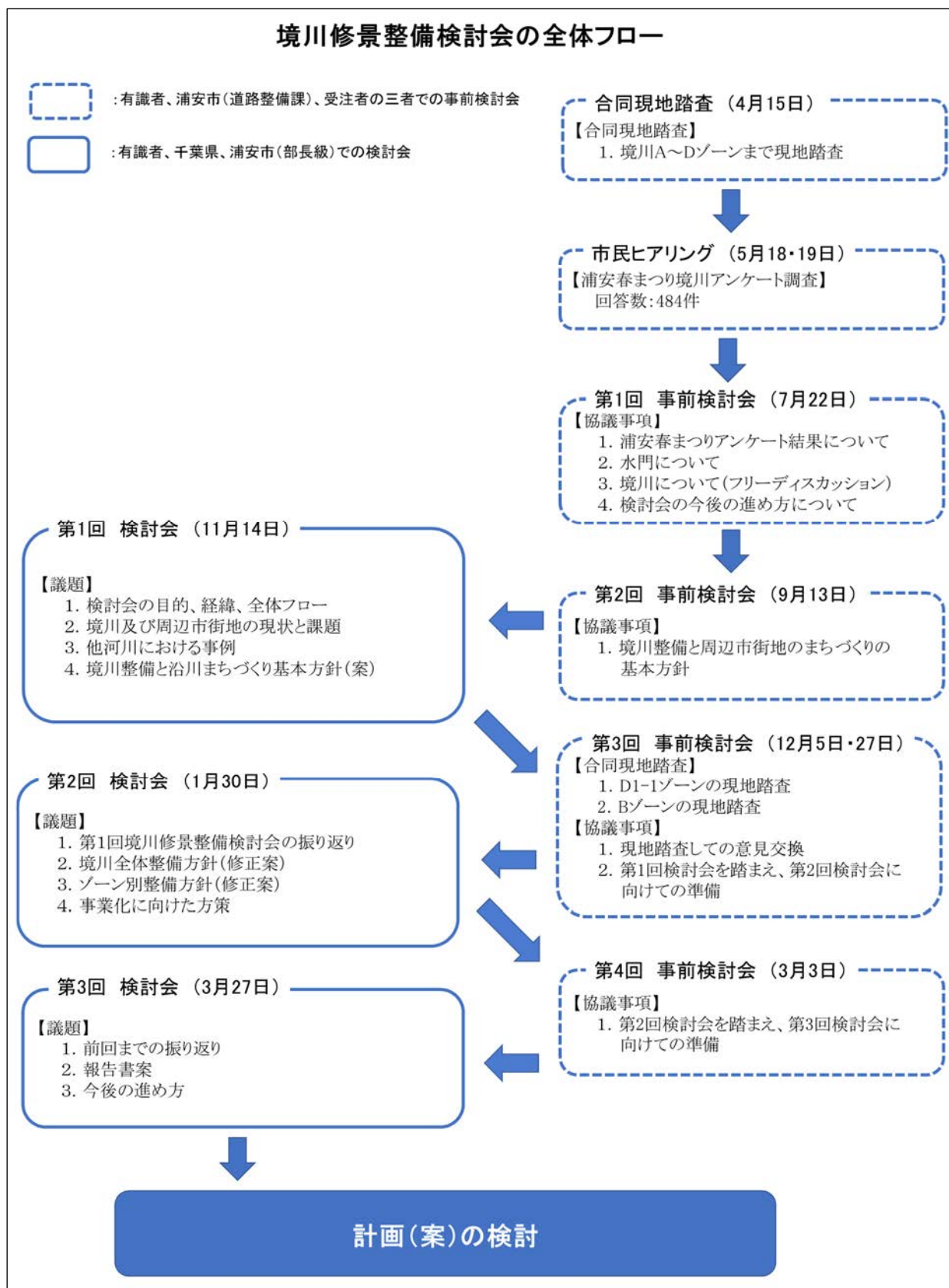
検討会員名簿 (6 名・敬称略)

氏 名	職 等	備 考
じんない ひでのぶ 陣内 秀信	法政大学 特任教授	会長
ささき よう 佐々木 葉	早稲田大学創造理工学部 社会環境工学科 教授	副会長
こひやま たかし 小檜山 天	企画部長	会員
はしの まりこ 橋野 まり子	市民経済部長	会員
ちく たけし 知久 岳史	都市整備部長	会員
いしかわ こうぞう 石川 豪三	一般社団法人浦安観光 コンベンション協会専務理事 (市民経済部商工観光課付)	会員

オブザーバー (敬称略)

氏 名	職 等	備 考
とくとめ けんじ 徳留 顕二	千葉県葛南土木事務所 次長	オブザーバー

### 6.3 計画（案）策定の経緯



---

## 6.4 境川修景整備検討会議事概要

### 6.4.1 第1回境川修景整備検討会議事録（骨子）

1. 開催日時 令和元年11月14日（木）午後1時30分～午後4時00分
2. 開催場所 浦安市役所4階 災害対策本部室
3. 出席者

（委員）

陣内会長、佐々木副会長、小檜山委員、知久委員、橋野委員、石川委員（計6名）

（オブザーバー）

千葉県葛南土木事務所/（代理）高田河川改良課長、（随行）畑本調整課長

（事務局）

都市整備部/板橋次長

道路整備課/大木課長、左海主幹、西村課長補佐、上田係長

宇田川主任主事、竹内主任主事、岩楯主任主事

（事務局補助）

公益財団法人リバーフロント研究所/土屋、水草、二瓶、利満、坂本

#### 4. 議題

- (1) 検討会の目的、経緯、全体フロー
- (2) 境川及び周辺市街地の現状と課題
- (3) 他河川における事例
- (4) 境川整備と沿川まちづくり基本方針（案）
- (5) その他

#### 5. 会議経過

- (1) 検討会の目的、経緯、全体フロー

事務局より検討会の目的、経緯、全体フローの説明を行った。

- (2) 境川及び周辺市街地の現状と課題

事務局より境川及び周辺市街地の現状と課題に関して説明があった。

・ 現況を示す資料として、江戸時代にできた歴史的市街地の位置と年代を正確に表示するよう意見があった。江戸時代にできたところ、近代にできたところ、歴史的資源が残されているところを書き分け、また、路地なども入れるようにとの意見があった。

- (3) 他河川における事例

事務局より他河川における事例に関して説明を行った。

---

#### (4) 境川整備と沿川まちづくり基本方針（案）

事務局より境川整備と沿川まちづくり基本方針（案）に関して説明を行った。

- 基本方針検討に必要な情報として大正・昭和初期時代の浦安を描いた浦安町鳥瞰図を資料で提示すること、また、これを現在の地図の上にプロットすること、との意見があった。
- 個別の課題に対応する方針はまとめられているが、境川と市街地との関係をとらえた大きな視点での方針には不足がみられる。方針案作成にあたって、例えば緑のネットワークや排水のネットワークなどについて、境川の背後地も広くとらえて整理すべきとの意見があった。この整理をもとに境川がどのような役割を担うのかを検討し、これらを含めたビジョンを描くようにとの意見があった。
- 今回整備対象であるAゾーンだけが歴史ゾーンであるような印象を受けがちであるが、実は整備済みのBゾーンが最も重要な歴史ゾーンであることが明らかになった以上、それも含め、A・Bゾーンを一体にとらえ歴史ゾーンの総合的な見直しを図るべきとの意見があった。
- D1-1ゾーンに関しては、魅力的な提案があり、具体化に向け頑張ってもらいたい。設計者をコンペで選ぶ等の工夫で、整備のプロセス自体をまちづくりの一環として取り組んで欲しいとの意見があった。

#### (5) その他

事務局案を踏まえ、各委員の意見を反映し、次回に継続協議する。

### 6. 傍聴 2名

---

## 6.4.2 第2回境川修景整備検討会議事録（骨子）

1. 開催日時 令和2年1月30日（木） 午後1時30分～午後3時30分
2. 開催場所 浦安市役所10階 協働会議室
3. 出席者

（委員）

陣内会長、佐々木副会長、小檜山委員、知久委員、橋野委員、石川委員（計6名）

（オブザーバー）

千葉県葛南土木事務所/ 徳留次長、（随行）畑本調整課長

（事務局）

道路整備課/ 大木課長、左海主幹、西村課長補佐、上田係長

宇田川主任主事、竹内主任主事、岩楯主任主事

（事務局補助）

公益財団法人リバーフロント研究所/ 土屋、水草、二瓶、利満、坂本

### 4. 議題

- (1) 第1回境川修景整備検討会の振り返り
- (2) 境川全体整備方針（修正案）
- (3) ゾーン別整備方針（修正案）
- (4) 事業化に向けた方策
- (5) その他

### 5. 会議経過

- (1) 第1回境川修景整備検討会の振り返り

事務局より前回までの振り返りと本日の内容について説明を行った。

- (2) 境川全体整備方針（修正案）

市民の役割を記載すること、イメージパースは今後の使用場面に配慮し注意深く必要な要素を盛り込むように加筆修正することとし、沈船対策の記載を行うことを前提に修正案が合意された。

- (3) ゾーン別整備方針（修正案）

ゾーン毎に以下の指摘があり、第3回検討会までに案を作成することが決められた。

（ABCゾーン）

- ・ハード整備が完了するBCゾーンについてもソフト事業を考える上での参考として現況課題図を掲載すること。
- ・緑の充実のため、路地や民地の緑を活かすと共に、住民参加で緑を育てる工夫を盛り込むこと。
- ・沿川の道路については休日に車を規制してオープンカフェ等を行う社会実験について住民との協議を行うよう検討すること。空間をイメージしやすいような図面を追加すること。

---

(D1-1ゾーン)

- ・境川公園と管理用通路の関係を断面図で表すこと。歩道橋の新設については整備の必要性や浮橋形式の採用を含めて再考すること。

(D1-2、D2ゾーン)

- ・事務局案を基本的に了承する。

(4) 事業化に向けた方策

事務局案を基本的に了承する。

(5) その他

事務局案を踏まえ、各委員の意見を反映し、次回に継続協議する。

6. 傍聴2名

---

### 6.4.3 第3回境川修景整備検討会議事録（骨子）

1. 開催日時 令和2年3月27日（金） 午後3時00分～午後5時00分

2. 開催場所 浦安市役所10階 協働会議室

3. 出席者

（委員）

陣内会長、佐々木副会長、小檜山委員、知久委員、橋野委員、石川委員（計6名）

（オブザーバー）

千葉県葛南土木事務所/ 徳留次長、（随行）畑本調整課長

（事務局）

都市整備部/ 板橋次長

道路整備課/ 大木課長、左海主幹、西村課長補佐、上田係長、

宇田川主任主事、竹内主任主事、岩楯主任主事

（事務局補助）

公益財団法人リバーフロント研究所/ 土屋、二瓶、利満、坂本

4. 議題

(1) 前回までの振り返り

(2) 報告書案

(3) 今後の進め方（行政間協議・市民参加推進等）

(4) その他

5. 会議経過

(1) 前回までの振り返り

事務局より前回までの振り返りと本日の内容について説明を行った。

(2) 報告書案

以下の指摘を踏まえて報告書を取りまとめ、市民にも公表することが了承された。

①Aゾーンについて

商業活動活性化の可能性のあるところなので、しっかり取り組む姿勢を明示すること。

②BCゾーンについて

整備がほぼ完了しているBCゾーンについても利活用等に関して一体的に対応すること。

③D1-1、D1-2、D2ゾーンについて

・多くの小段が計画されているが、箇所別の設置の必要性を精査し調整すること。

・D1-1ゾーンの両岸連絡動線については、設置目的を整理し、整備に当たっての要件に見合った手法を検討すること。なお、仮設浮橋、チェーンフェリーは魅力があるが、管理用通



---

路から水面までのアクセス路についての配慮についても言及すること。

- ・D1-1ゾーンは最も川らしさを感じさせる場所でSUP・カヌーなどの水遊びや自然観察の場、川の知識を学ぶ場として生かすべき場所であることを報告書に明記すること。

(3) 今後の進め方

- ・段階的整備方針と、事業化に向けた今後の取り組みを、報告書に記載すること。
- ・愛知県岡崎市の乙川のかわまちづくりの事例を参考資料として記載すること。
- ・報告書に記載する目的や考え方を基本とし、イメージ図に囚われることなく、より魅力的なデザイン設計を進めることを前書きに記載すること。

(4) その他

これまでの検討会で出た意見等を踏まえ、最終的な報告書を取りまとめることとする。

6. 傍聴 4名

## 6.5 市民アンケート

### 6.5.1 アンケート調査概要

# 1. アンケート調査概要 (1/2)

## (1) 目的

境川境川上流区間（西水門～新橋）と下流側（浦安市役所～河口）は未整備区間である。その区間の境川修景整備について、境川周辺を訪れた方々から広く意見を聴取し、計画検討の参考とすることを目的に、アンケート調査を実施する。

## (2) 調査日時

令和元年 5 月 18 日（土）及び 19 日（日）  
10：00～16：00

## (3) 調査実施場所

浦安春まつり2019 会場内のテント1張を拠点とする。



#### (4) 調査対象者

浦安春まつり2019 来場者

#### (5) 調査調査方法

アンケート調査は、調査員によりアンケート協力を呼びかけ、調査員がパネル等を用いて内容を説明し来場者に記述していただくことを基本とする。

#### (6) サンプル数

- 目標サンプル数：200票以上（二日間累計）
- 結果サンプル数：484票（二日間累計）

#### (7) 状況写真



## 6.5.2 アンケート調査票

浦安春まつり 2019 来場者アンケート調査

### 境川修景整備に関するアンケート

現在、浦安市では境川上流区間（西水門～新橋）と下流区間（浦安市役所～河口）において、境川の景観がより良くなるように、また境川周辺がよりにぎわうような計画を検討しています。今後の計画の参考とするため、アンケート調査にご協力ください。該当する番号に○印をご記入ください。


Q1	既に整備が進んでいる中流区間（新橋～市役所）の様子についてお伺いします。			
	(1) 賑わいについてどの程度あると思いますか？			
	1: とてもある	2: ややある	3: やや無い	4: ほとんど無い
Q2	(2) 景観についてどう思いますか？			
	1: とても好みである	2: やや好みである	3: やや好みでない	4: 好みでない

Q2	今後整備をすとした場合、境川で何をしたいですか？（複数回答可）			
	1: 散策・ランニング	2: 水遊び	3: 釣り	4: 音楽
Q3	5: 芸術	6: 花見	7: 水上スポーツ（カヌー・スタンドアップパドル）	
	8: 乗船	9: カフェテラスやバーで飲食	10: グルメイベントで飲食	
	11: マルシェ（市場）で買い物	12: フリーマーケット		
	13: その他（		）	

Q3	未整備区間の境川がもっと魅力的になる為に必要なことは何ですか？ あれば、区間毎の（ ）内に下記番号を記載して下さい。（複数回答可）	
	<p>&lt;施設設備&gt;</p> <p>上流（ ）</p> <p>下流（ ）</p> <p>1: ベンチ・東屋<sup>あずまや</sup></p> <p>2: 川に降りる階段・道</p> <p>3: 歩道や緑地帯と一体の散策路</p> <p>4: トイレ</p> <p>5: カフェテラスやバーなど飲食店</p> <p>6: サイクリングロード</p> <p>7: 船着場・マリーナ</p> <p>8: 水辺にあるテラス</p> <p>9: 街路灯</p> <p>10: その他（ ）</p>	<p>&lt;景観&gt;</p> <p>上流（ ）</p> <p>下流（ ）</p> <p>1: レンガ調の景観</p> <p>2: コンクリートの景観</p> <p>3: 芝生</p> <p>4: 街路樹や花など緑化</p> <p>5: 歴史的な風景</p> <p>6: 水がきれい</p> <p>7: その他（ ）</p>

裏面へ続く↓

浦安春まつり 2019 来場者アンケート調査

<b>Q4</b>	<p>市役所の下流側には右写真のように、洪水や高潮から街を安全に守る為の施設として、川と街との間に、人の身長より高い壁がある状況です。</p> <p>そのことについてどのように思いますか？</p>	
	<p>1: 現状のままでよい</p> <p>2: お金をなるべくかけずに、既存の壁を利用し修景を行った方がよい</p> <p>3: 水辺を身近に感じられるように撤去した方がよいが、安全上問題があればそのままよい</p> <p>4: お金をかけてでも、安全を確保し、ぜひ撤去した方がよい</p>	

<b>Q5</b>	<p>境川水辺空間整備事業を進めるには、事業費が必要となりますが、この春まつり会場周辺の整備が一月 300 円/人の負担であるとした場合、あなたなら一月当たりどのくらい負担してもいいと思いますか？</p>
	<p>1: 缶コーヒー程度 (100 円)・・・中流部の護岸修景は過度でそこまでする必要がない</p> <p>2: 牛丼程度 (300 円)・・・中流部の護岸修景程度でよい</p> <p>3: ワンコイン弁当 (500 円)・・・中流部の護岸修景と比べて良くした方がよい</p> <p>4: 散髪 (1,000 円)・・・中流部と護岸修景と比べて大幅に良くした方がよい</p>

<b>Q6</b>	<p>その他、境川に対する思いや要望等がありましたらご自由にご記入下さい。</p>

あなたについて教えてください。

年齢	10 20 30 40 50 60 70 80歳代以上	性別	1. 男性 2. 女性
お住まい	<input type="checkbox"/> 浦安市 ( ) 地区) <input type="checkbox"/> 千葉県浦安市外 ( ) 市・町・村) <input type="checkbox"/> それ以外 ( ) 都・道・府・県		
境川周辺 (一帯) の主な利用目的	1. 散歩                      2. 遊び・レクリエーション                      3. ランニング 4. 観光                      5. 通勤・通学                      6. お祭り、イベント 7. その他 ( )		
境川周辺 (一帯) の利用頻度	1. ほぼ毎日                      2. 週1～2回程度                      3. 月1～2回程度                      4. 年に数回 5. 2～3回目                      6. 初めて                      7. その他 ( )		

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

※アンケートに記入して頂いた内容は、本アンケートに関わる目的にのみ使用し、他の目的には使用いたしません。

## Q5について補足説明

### 浦安市 税の負担状況

• 市税	402億5508万円
• 年一人当たり	23万6441円
• 月一人当たり	1万9703円
• 人口	17万254人

※(平成31年3月末現在) 広報うらやす 令和元年5月1日号より

### 税の月一人当たりに対する割合

- 1.缶コーヒー(100円).....0.5%
- 2.牛井の場合(300円).....1.5%
- 3.ワンコイン弁当(500円)....2.5%
- 4.散髪(1,000円).....5.1%

### 年間当たりの税収額(仮定)

- 1.缶コーヒーの場合  
17万人×12ヵ月×100円≒204百万円
- 2.牛井の場合  
17万人×12ヵ月×300円≒612百万円
- 3.ワンコイン弁当の場合  
17万人×12ヵ月×500円≒1,020百万円
- 4.散髪の場合  
17万人×12ヵ月×1,000円≒2,040百万円

### 整備済の中流区間事業費

- 総事業費 約3,300百万円
- 中流区間の河川延長L=約1,700m
- 1m当たりの事業費に換算すると、  
 $3,300\text{百万円} \div 1,700\text{m} \approx 2\text{百万円/m}$

### 未整備の上・下流区間事業費(仮定)

- 上流区間の河川延長L=約400m
- 下流区間の河川延長L=約3,200m
- 上・下流区間の総事業費は  
 $2\text{百万円/m} \times (400\text{m} + 3,200\text{m}) \approx 7,200\text{百万円}$

### 上・下流の整備に必要な税収に要する年数(仮定)

- 1.缶コーヒーの場合  
 $7,200\text{百万円} \div 204\text{百万円} \approx 35\text{年}$
- 2.牛井の場合  
 $7,200\text{百万円} \div 612\text{百万円} \approx 12\text{年}$
- 3.ワンコイン弁当の場合  
 $7,200\text{百万円} \div 1,020\text{百万円} \approx 7\text{年}$
- 4.散髪の場合  
 $7,200\text{百万円} \div 2,040\text{百万円} \approx 4\text{年}$

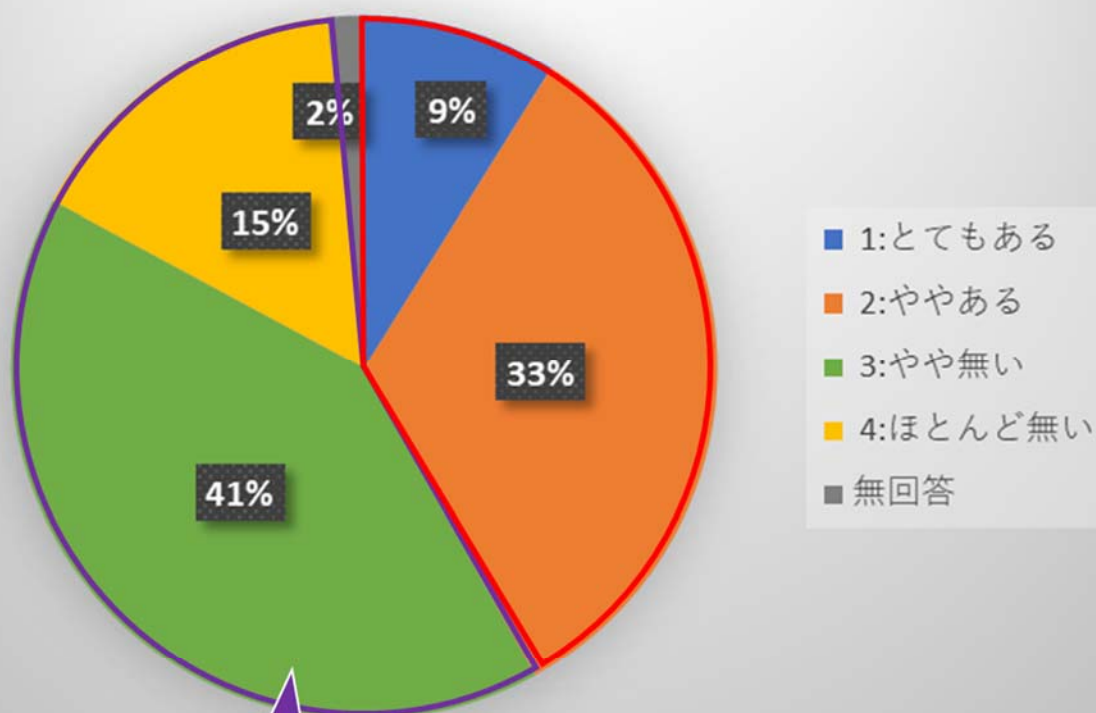
### 6.5.3 アンケート結果

Q 1

既に整備が進んでいる中流区間（新橋～市役所）の様子についてお伺いします。  
（1）賑わいについてどの程度あると思いますか？

- 賑わいがある方が約4割、無い方が約6割となった。

## 中流区間の賑わいの程度



やや無い&ほとんど  
無いが約6割

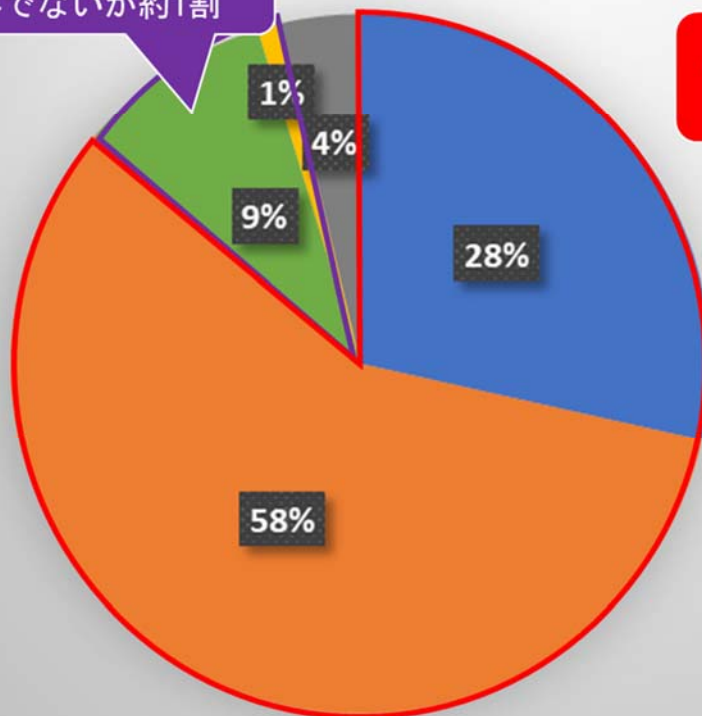
Q 1

既に整備が進んでいる中流区間（新橋～市役所）の様子についてお伺いします。  
（2）景観についてどう思いますか？

- 好みの方が約9割、好みでない方が約1割と好みの方が大半を占めた。

## 中流区間の景観について

やや好みでない&好みでないが約1割



とても好み&やや好みが約9割

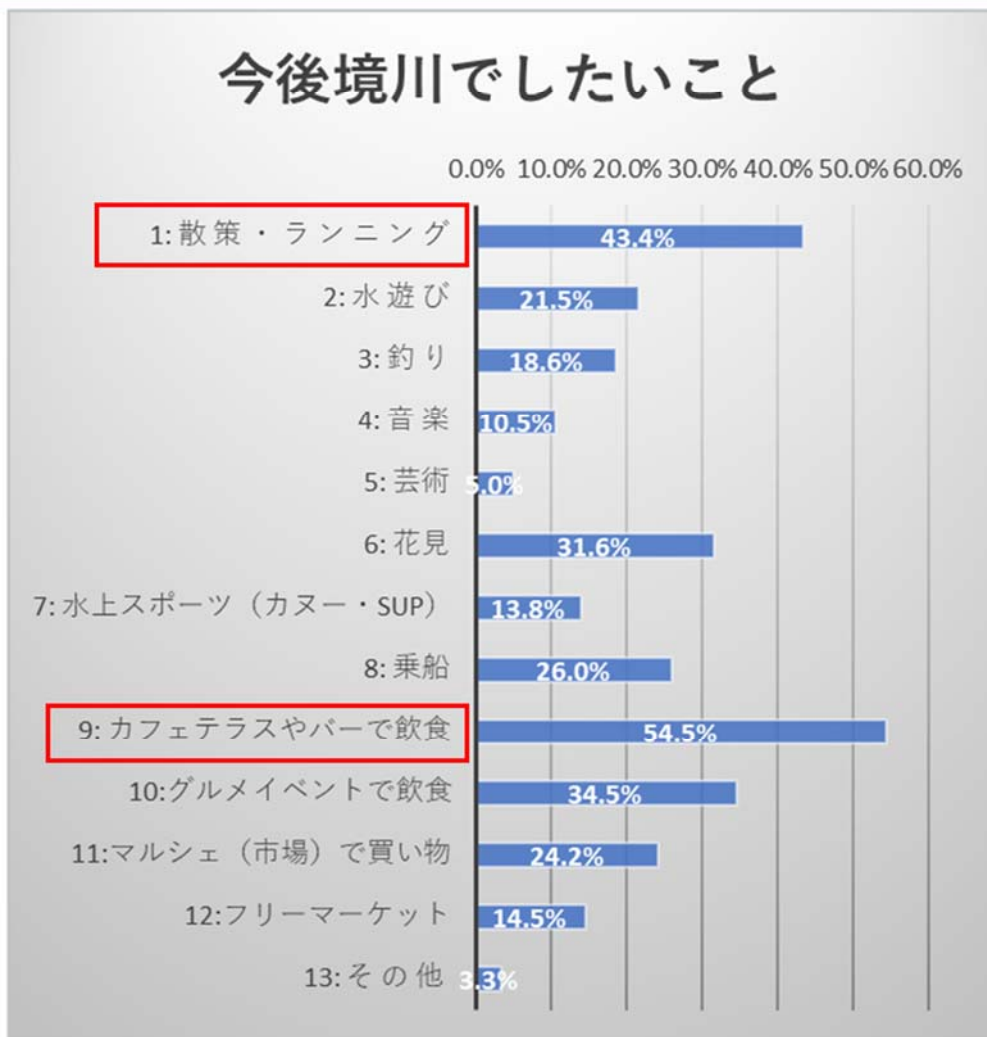
- 1:とても好みである
- 2:やや好みである
- 3:やや好みでない
- 4:好みでない
- 無回答



Q 2

今後整備をするとした場合、境川で何をしたいですか？（複数回答可）

- カフェテラスやバーで飲食が一番多く、次いで散策・ランニングが多い。



【その他回答】

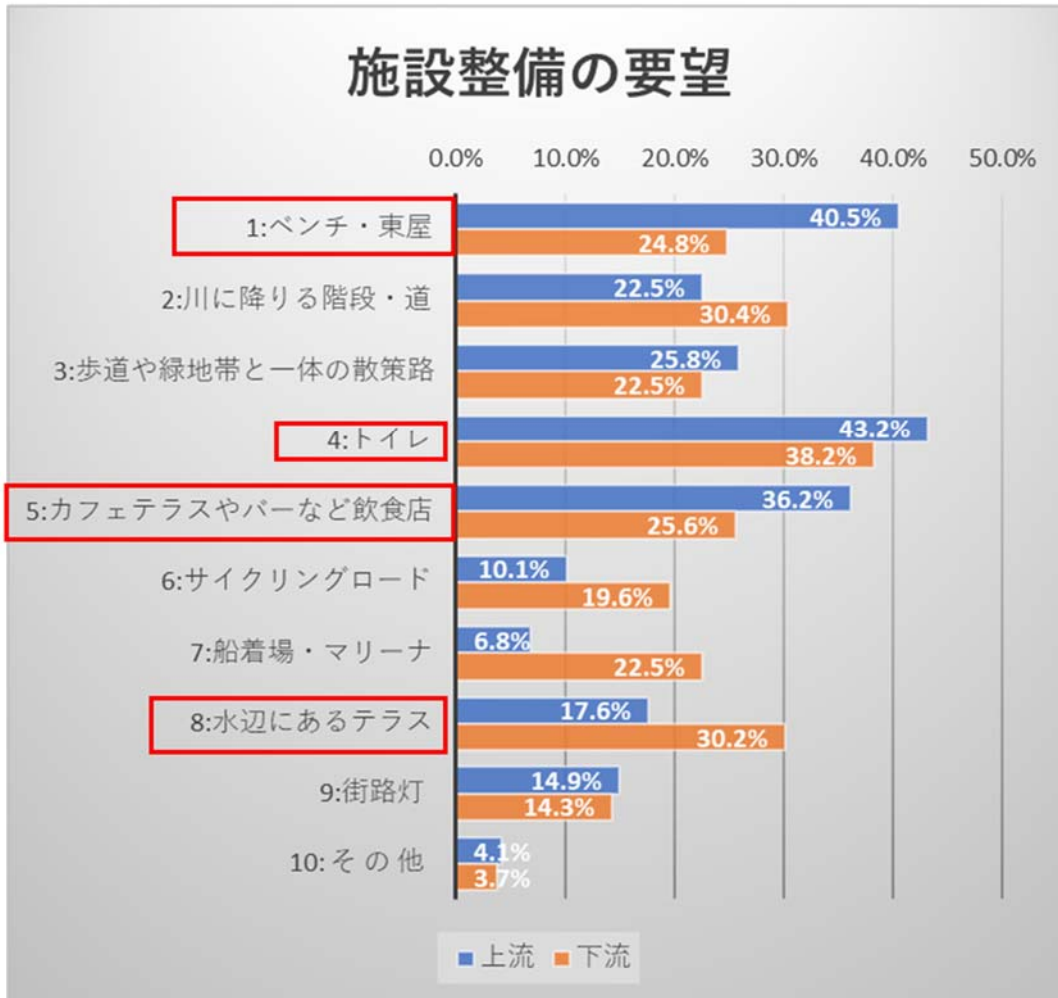
- ・オープンウォーター
- ・河川の航路確保
- ・漁業、防災、水上交通
- ・こいのぼり、桜
- ・潮干狩り
- ・自由に使えるようにしたい
- ・段差解消
- ・ダンス

- ・道路を安全にして欲しい
- ・人が集まる何か？
- ・べか船
- ・水辺レストラン
- ・水をきれいにする整美
- ・岸寄りのカフェテラス

Q 3

未整備区間の境川がもっと魅力的になる為に必要なことは何ですか？  
 (1) 施設整備 (複数回答可)

- 上流側では、トイレが多く、次いでベンチ・東屋が多い。
- 下流側では、トイレが多く、次いで階段・道と水辺にあるテラスが多い。



【その他回答】

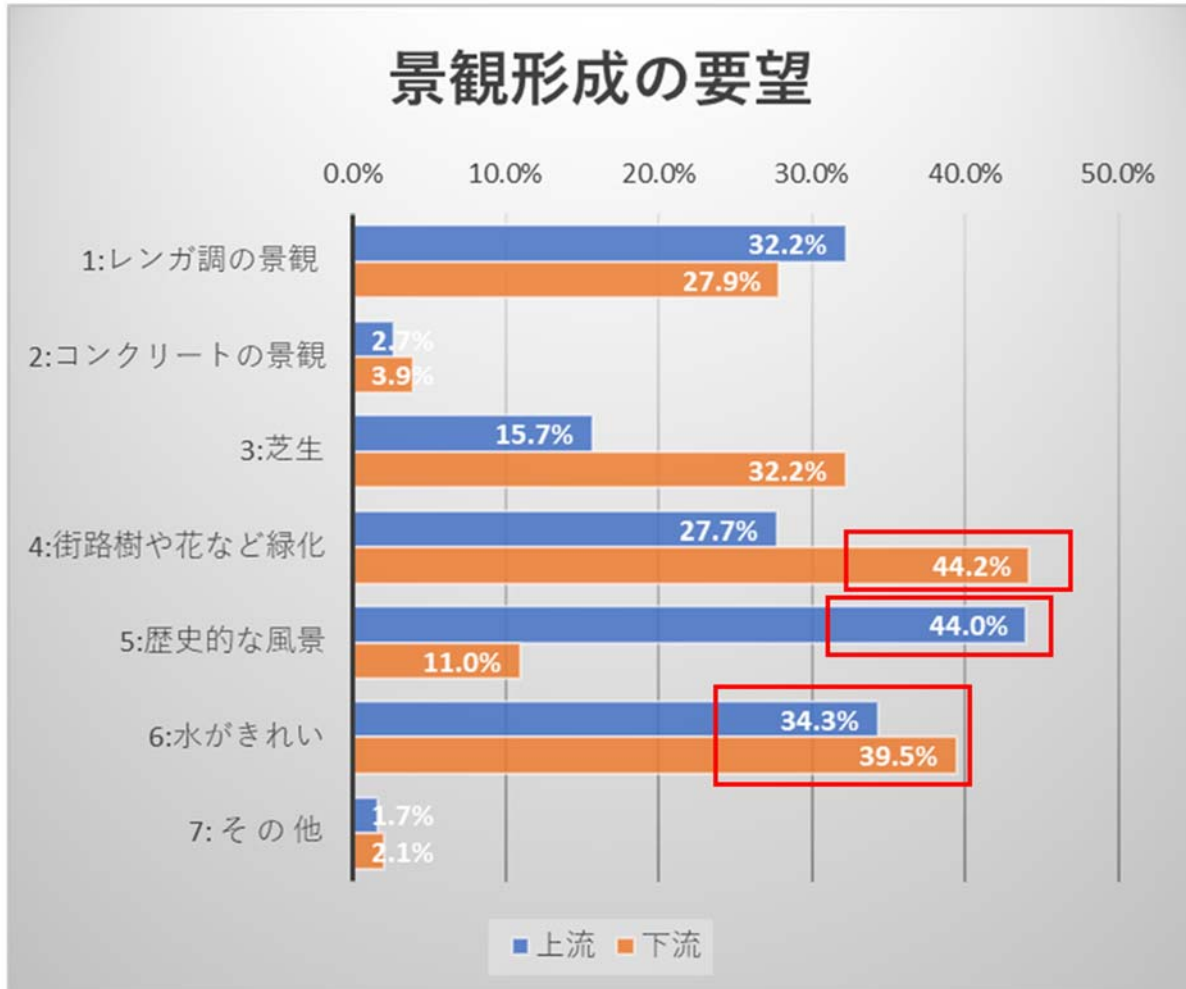
- ・犬と散歩できる環境
- ・鴨が来る草地
- ・河岸散歩道
- ・漁業を復活させる。置屋 (船)
- ・再利用した廃油などでイルミネーション
- ・坂の上下が大変。道も狭い。
- ・桜
- ・授乳室
- ・水門の塗替え
- ・設備じゃない
- ・昔のもの
- ・釣り
- ・東京の運河とつながる
- ・東西線の桜をアピールして欲しい。
- ・施設整備は不要
- ・嫁入船

- ・犬と散歩してよい環境
- ・河岸散歩道
- ・護岸に公園を作る
- ・子供も遊べるような
- ・桜
- ・植栽
- ・水面に近づくこと
- ・水門の塗替え
- ・ステージ&グルメを楽しむ
- ・設備じゃない
- ・排水機場・水門
- ・昔のもの
- ・ランニングコースとKm表示
- ・漁業を復活させる。置屋 (船)

Q 3

未整備区間の境川がもっと魅力的になる為に必要なことは何ですか？  
 (2) 景観整備 (複数回答可)

- 上流側では、歴史的な風景を望む声が多い。
- 下流側では、街路樹や花、及び芝生を望む声が多い。
- 上下流ともに水がきれいになる要望が多い。



【その他回答】

・ 浦安らしさを残す

・ 小屋 日本的なものにする。

・ 下手に洋風にしない。

・ 上～下 変化があった方が良い

・ 統一的にする。

・ 水の浄化

・ 路上駐車を無くす

・ 上～下変えた方が良い

・ ジョギングロード

・ ツタをはやす

・ 水の浄化

・ 路上駐車が多い

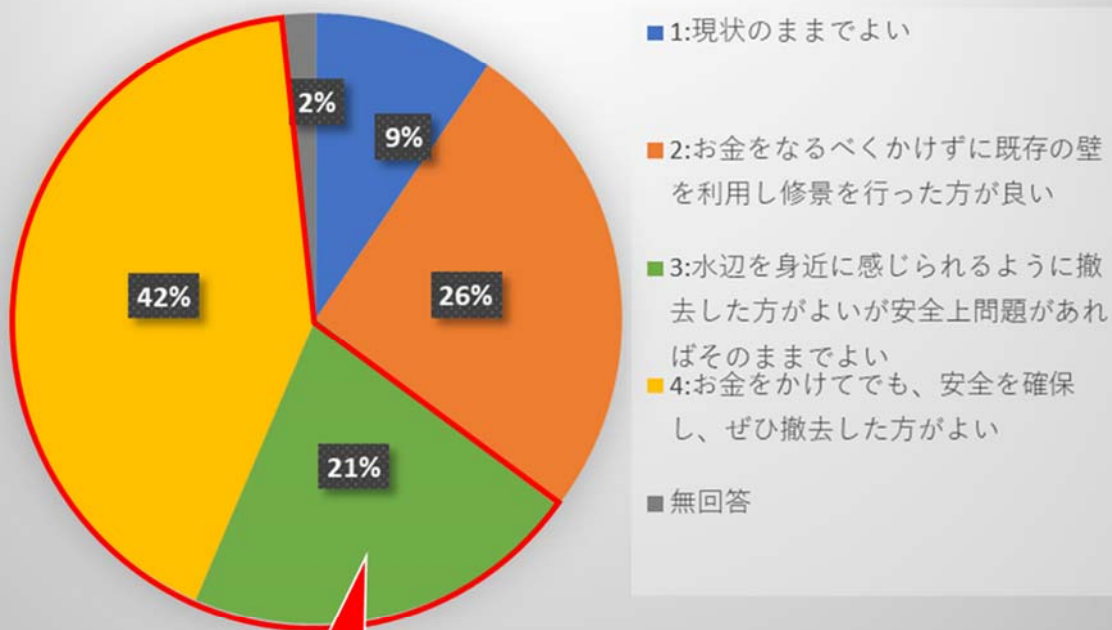
・ 統一的にする。

Q 4

市役所の下流側には洪水や高潮から街を安全にする為の施設として、川と街との間に、人の身長より高い壁がある状況です。そのことについてどのように思いますか？

- 撤去した方がよいと考える人は約6割を占めた。

### 視界を遮る擁壁の扱い方



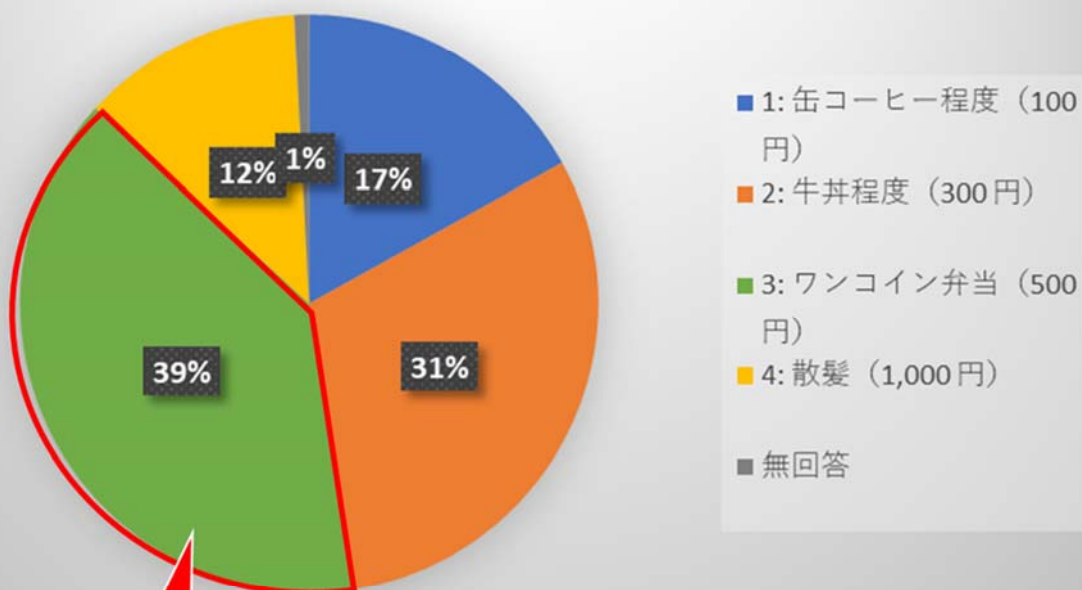
撤去した方がよいが  
約6割

Q 5

境川水辺空間整備事業を進めるには、事業費が必要となりますが、この春まつり会場周辺の整備が一か月300円/人の負担であるとした場合、あなたなら一か月当たりどのくらい負担してもいいと思いますか？

- 中流部の護岸修景と比べて良くした方がよい（一か月当たり500円程度の負担）が一番多かった。

## 事業費負担額のイメージ



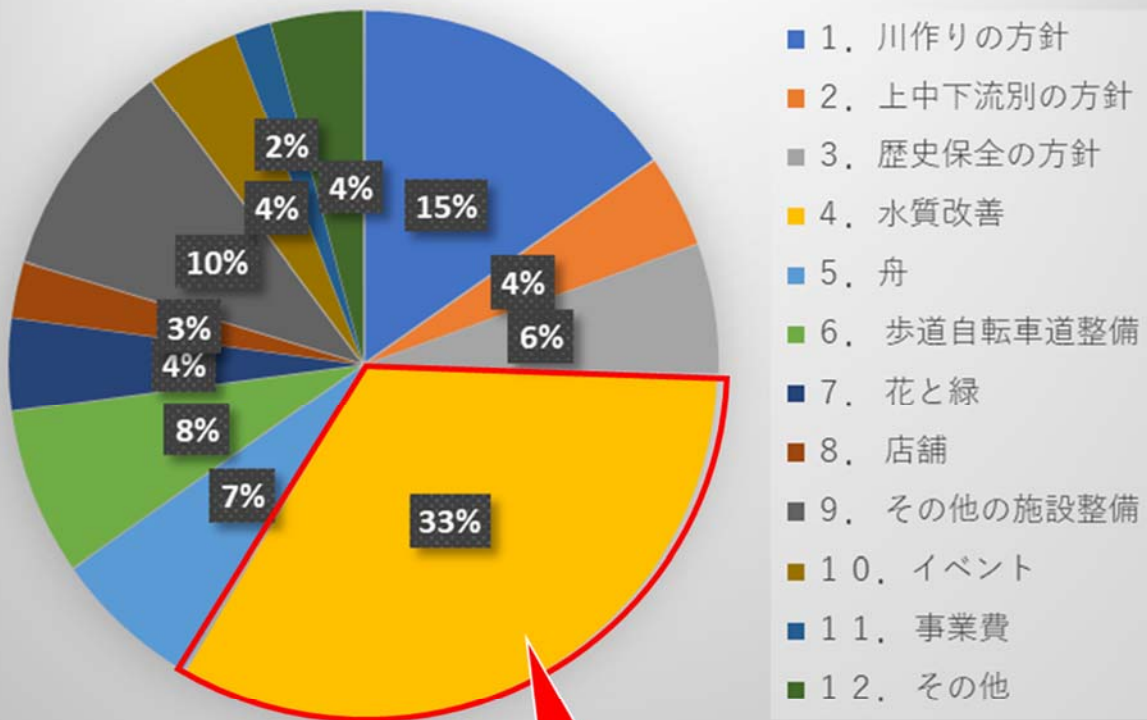
約4割が500円程度

Q 6

その他、境川に対する思いや要望等がありましたらご自由にご記入下さい。

- 自由意見での回答を左表のように、12テーマに分類した。  
その中で、最も多かったのが水質改善に関するもので33%であった。

## 自由意見のテーマ別



自由意見の3割強が水質改善について

## アンケート結果のまとめ

### 回答者の傾向

- 30～60代が多く、男女比率は同程度であった。
- 約8割が浦安市民であり、またその内の約3割をイベント会場付近（境川沿川）である猫実、堀江地区の住民であった。

### Q 1 中流区間（B・Cゾーン）について

- 整備済みであるレンガ調景観については、好まれている結果であったが、普段の賑わいについては無いと感じられる方の方が多い。

### Q 2 境川でしたいこと

- カフェテラスやバーで飲食が一番多く、次いで散策・ランニングであった。その他意見等もあり、境川の利活用したいと思う人が多いことが伺える。

### Q 3 (1) 境川に必要なこと（施設整備）

- 上流側 トイレ、ベンチ、東屋、カフェテラス等が多数。
- 下流側 トイレ、階段・道、水辺のテラス等が多数。

### Q 3 (2) 境川に必要なこと（景観整備）

- 上流側 歴史的な風景を望む声が多数。
- 下流側 街路樹や花、芝生等の緑を望む声が多数。
- 上下流ともに水のきれいさを望む声が多数。

### Q 4 高い壁（パラペット）の撤去について

- 撤去した方がよいと考える人は約6割を占め、過半数を超えた。

### Q 5 負担してもよい金額

- 約半数が「中流部の護岸修景と比べて良くした方がよい（500円/月以上負担してもよい）」と考えている。

### Q 6 自由意見

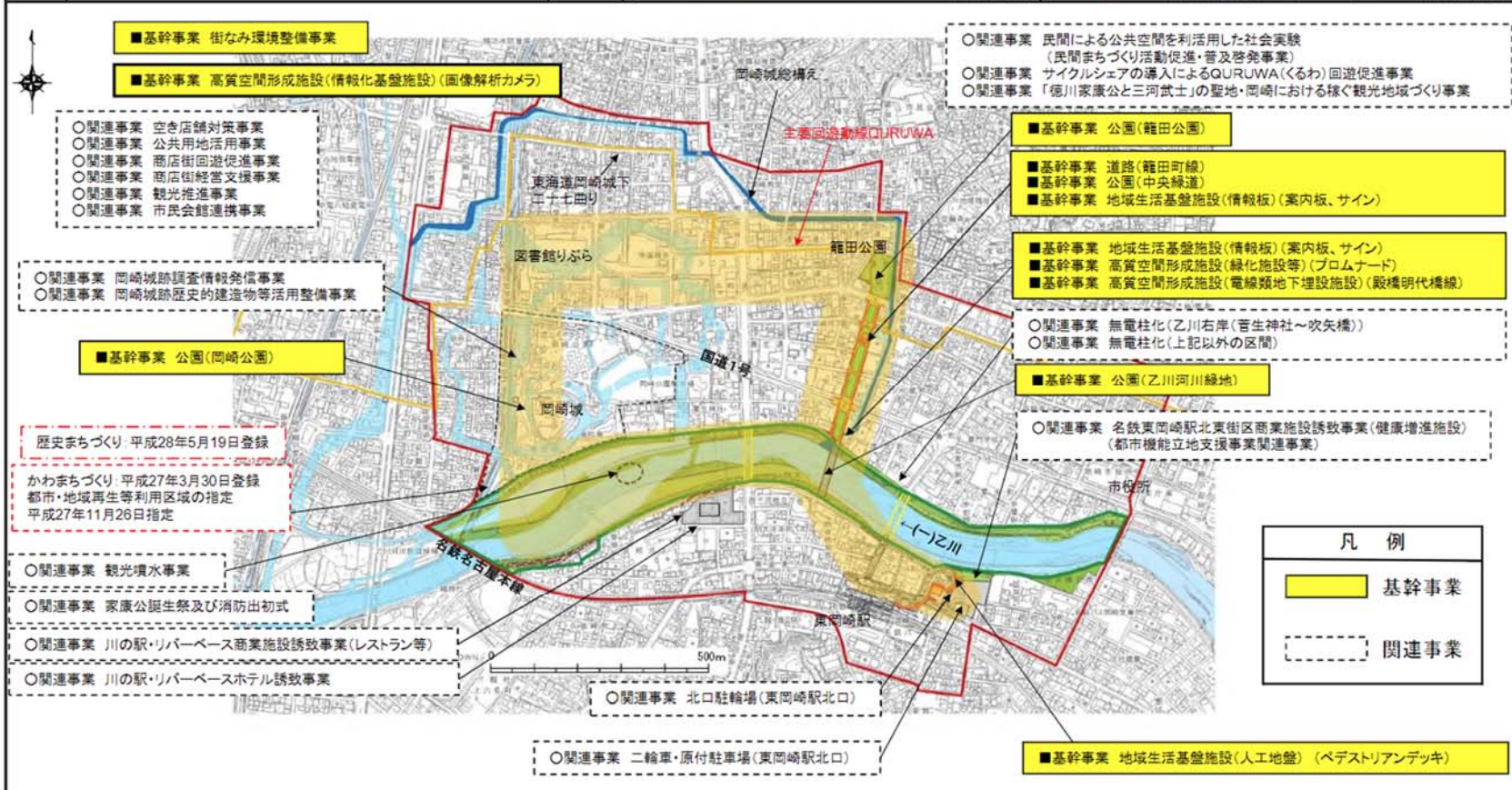
- 最も多かったのが水質改善の要望であり、33%を占めた。
- その他、水辺での利活用を望む声が多く、境川への関心が高いと伺えることができる。





乙川リバーフロントQURUWA戦略地区(愛知県岡崎市) 整備方針概要図

目標 “これからの100年を暮らすまち、夢ある新しい岡崎” ～ 乙川の水辺空間と歴史文化遺産を活かし公民連携 して挑む観光産業都市の創造～	代表的な 指標	①魅力発揮に関する市民満足度	(%)	60	(H26年度)	→	66	(R2年度)
		②橋梁(歩道、人道橋)を往来する人数	(人/日(12h))	3,720	(H26年度)	→	4,260	(R2年度)
		③岡崎公園を訪れる観光客数(岡崎城入場者数)	(万人/年)	20.7	(H26年度)	→	24.3	(R2年度)
		④東岡崎駅の乗降客数	(人/日)	36,594	(H26年度)	→	41,700	(R2年度)
		⑤QURUWA上の路線価	(千円/m <sup>2</sup> )	107.8	(H26年度)	→	109.4	(R2年度)
		⑥QURUWA上の公共空間を活用した民間事業活動日数	(日/年)	1	(H26年度)	→	70	(R2年度)



出典：都市再生整備計画(第5回変更)(地方再生コンパクトシティ)(都市再構築戦略事業)

[https://www.city.okazaki.lg.jp/1550/1567/1700/p018551\\_d/fil/rf-tosisaisei-5.pdf](https://www.city.okazaki.lg.jp/1550/1567/1700/p018551_d/fil/rf-tosisaisei-5.pdf)

**■「泰平の祈り」プロジェクト**

- ・東条公園400年のフィナーレとなる平成27年12月26日の夜、青く光るボール3万個を、乙川に流す「泰平の祈り」プロジェクトを実施します。
- ・「泰平の祈り」は平成27年度から5年間、国の補助対象となります。平成28年以降も岡崎の冬のイベントとして定番を定めていきます。

**■殿橋・明代橋**

- ・橋のライトアップを行って夜の乙川周辺の雰囲気を一変します。（イラスト）照明は色を変えられるものとします。
- ・新が船橋の補修・修繕工事と、明代橋の補修・修繕に向け見積書を行います。
- ・将来の架け替え時には、殿橋・明代橋は岡崎のシンボルとなる「石の橋」「緑の橋」のイメージを市では考えています。

**■（仮称）岡崎セントラルアベニュー**

- ・乙川に幅16mの木調の人道橋を設置します。
- ・中央緑道の車道を集約して、歩行者空間を創出します。
- ・セントラルアベニューには、中心市街地の動線として、イベント空間として、様々な活用が期待されます。

**■徳川四天王像**

- ・徳川家を代表する試練の石像を（仮称）岡崎セントラルアベニューに設置します。
- ・石像にストーリー性を持たせて設置することで、徳川家の歴史を深解するきっかけとします。
- ・岡崎の石工技術の粋を集め、輝きのある若々しい像とします。

**■乙川水面の利用**

- ・乙川の左右岸5か所に船着き場を設け、平成28年春から観光船を就航させます。（イラスト）
- ・様々なタイプのボートを揃えて、平成28年春から貸しボートの営業を復活します。

**■乙川プロムナード（乙川遊歩道）」**

- ・歩行者と車道を分離して再整備します。（イラスト）
- ・プロムナードには照明施設を設置します。
- ・伊賀川に架かる竹千代橋を拡張するが、歩行者の橋を併設して、歩行者が安心して伊賀川を渡るようにします。

**■徳川家康公像**

- ・名鉄東岡崎駅前広場に徳川家康公の像を設置します。（イラスト）
- ・家康公像の制作には市民の皆さまの協力を呼び掛けてまいります。

**■乙川河川敷の整備**

- ・河川敷に遊歩道やランニングコースを設置します。
- ・コースの両側には連続的な灯りを設けます。（イラスト）
- ・ドッグランや観水広場を整備します。
- ・遊水橋の改修や水はけの改善を行います。
- ・河川敷に隣りる遊歩道やスロープを新設・改良します。

**■名鉄東岡崎駅周辺整備**

- ・通勤や通学にも便利なベネディアンデッキを、東岡崎駅と明代橋公園の間に設置します。（イラスト）
- ・デッキには展望スペースを設けます。
- ・東岡崎駅から船着き場までの誘導路を設け、お客様を観光船で岡崎公園にご案内します。

出典：内田やすひろの政策日記 <https://uchidayasuhiro.cocolog-nifty.com/blog/2015/04/post-a170.html>

